

ケアネットせとうち通信

笑顔で長生きできるまち

新しい瀬戸内市民病院が開院しました!!

平成28年10月、瀬戸内市民病院は新しい病院での診療を開始しました。一般病床110床のうち、回復期リハビリテーション病棟を30床新設、地域包括ケア病床は16床に増床。病室も多様なニーズに応えられるよう特別室、個室、2床室、4床室が用意されています。併せてMRIの新規導入による診療機能の充実、健康管理センター設置による健診機能の充実も図られています。院内には連携や相談の窓口である地域医療連携室の他、邑久医師会事務局、行政部門のトータルサポートセンターも設置されており、地域包括ケアシステムの構築に向けた基盤づくりが進んでいます。



トータルサポートセンターでは今後も「笑顔で長生きできるまち」を目指し、医療・福祉・保健等に関する総合的な相談を受け、多職種連携で支援を行います。また、多職種を対象とした研修会や在宅療養に関する市民啓発も継続していきます。

地域への出前講座も 始めました!!

トータルサポートセンターでは瀬戸内市民病院や地域包括支援センターと共に、地域のサロン等にうかがいミニ講座を行っています。



- 講座のテーマは「終活」「かかりつけ医のススメ」「新しい市民病院の機能と役割」などです。
- 講座を希望される方は、お気軽にご連絡ください!!

<連絡先>

瀬戸内市保健福祉部 トータルサポートセンター
☎ 0869-22-3800

始めました!!

在宅医療・介護への取り組み

～ケアネットせとうちの活動を ご紹介します～

高齢者入所施設合同研修会

【日時】10月12日(水) 13:30～15:00

【テーマ】笑顔で長生き、利用者の生活の質(QOL)向上のために
～私たちにできる取り組みを共有する～

【活動紹介】①介護老人保健施設 邑久ナーシングホーム
「C様の食事介助について」長谷川 理恵氏
木村 美絵氏

②特別養護老人ホーム あじさいのおか牛窓
「利用者ひとりひとりと関わるための仕組みづくり」
小福田 卓氏

③特別養護老人ホーム せとうち
「腹臥位とポジショニング」梶原 安代氏

【意見交換】ワールドカフェ方式による意見交換
テーマ「各施設で心がけていること、これから取り組みたいこと」



高齢者入所施設(養護老人ホーム・介護老人保健施設・特別養護老人ホーム)の職員を対象とした合同研修会を行いました。活動紹介では、入所者の状態に応じた食事介助やポジショニング法、施設内デイサービスの実施など、各施設の取り組みを共有しました。

意見交換では、日頃のケアをふり返り「これから取り組みたいこと」について活発な話し合いを行うことができました。

参加者の声

- ・各施設の取り組みを聴け、良かった。職員の刺激になるので、今後も開催してほしい。(施設長)
- ・現場の取り組みを共有することで、自身の施設で支援を行う際の参考になった。もっと意見交換の時間がほしい。(相談員)
- ・自施設には無い視点や取り組みを知り、見習うべきところがあった。自分にもできることをチャレンジします!! 前向きな気持ちになれました。(介護職員)
- ・色々な施設が参加し、それぞれの思いを知ることができた。新しい知識を得ることができた。(入所施設介護支援専門員)



この研修会は、高齢者入所施設とトータルサポートセンターの共催で企画運営を行っています。「他の施設の職員と、もっと意見交換をしたい」という希望が多く、次回は平成29年3月頃に開催する予定です。



認知症について理解を深めよう!!

【日時】8月18日(木) 19:00～20:30

【テーマ】認知症の人の支援について

～早期診断・早期支援に繋ぐために～

【講師】倉敷平成病院 神経内科部長

認知症疾患医療センター長 涌谷 陽介 氏

認知症は地域でも身近な病気となっており、早期診断・早期支援が大切と言われています。倉敷平成病院 涌谷医師をお迎えし、認知症の人の支援について研修会を行いました。

107名の方が出席され「認知症のことをよく知り、病態・不自由さ・その人を知ることで多職種連携に繋がり、良い支援ができる」「認知症の行動と心理症状への対応を見直すきっかけになった」等の感想をいただきました。認知症では体調管理がとても大切ですが、身体の辛さを上手く表現できない方もおられます。支援者が色々な面に留意し、ご本人・ご家族へ寄り添うケアに取り組んでいきましょう。



< 倉敷平成病院 涌谷医師 >

高齢期の食べる機能を支える ～口腔機能・摂食嚥下・栄養の改善を目指して～

【日時】①10月13日(木) 口腔機能の維持・改善

【テーマ】②11月10日(木) 嚥下機能の維持・改善

③12月 8日(木) 栄養状態の維持・改善

19:00～20:30

【講師】①岡山県歯科衛生士会 歯科衛生士 武田 明美 氏

②瀬戸内市民病院 言語聴覚士 安藤 佐知子 氏

③岡山県栄養士会玉瀬支部 管理栄養士 高塚 千代 氏



おいしく食べて
QOL向上!!



<①義歯の外し方を実演>



<②教材を使い嚥下機能の確認>

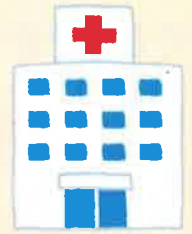


<③介護食の試食体験>

私たちの生活の中で「食べること」への関心は高く、高齢期や重度の介護状態になっても「好きなものを食べたい!!」と思っている方も多いのではないのでしょうか。食べることをテーマにQOL向上について考えるため、口腔・嚥下機能、栄養に関する研修会を行いました。座学に加え、飲水や食塊形成の体験等も行い、どのような姿勢が食べやすいのか、どのような食形態が飲み込みやすいのか等を実感することができました。



在宅療養支援連携に係る連絡会 を開催しました



瀬戸内市内の介護支援専門員、小規模多機能型居宅介護事業所、病院の地域医療連携室を対象とし、9月14日(水)在宅療養支援連携に係る連絡会を開催しました。

瀬戸内市民病院、瀬戸内記念病院から診療体制、外来受診・入退院に関する留意事項等について情報提供を行いました。昨年度から利用を開始した「入院時情報提供書」の活用状況は、アンケートを実施し、半数以上の方が利用されていることが分かりました。

「入院時情報提供書」を病院に提出することで「連絡を取りやすい」「必要な情報を病院からいただき、利用先の事業所とも情報共有できた」等の声がありました。一方で、「急に退院が決まり、サービス調整に苦慮した」「提供した情報が院内で活用されているか分かり難い」という意見もありました。

連絡会は今後も定期的に行い、在宅療養について支援がスムーズに行えるよう多職種連携を推進していきましょう。



地域包括ケア推進全体研修会

開催のお知らせ

日時：平成29年1月24日(火)
19:00～21:00

場所：瀬戸内市総合福祉センター
2階大会議室

テーマ：みんなでつくろう！笑顔で
長生きできるまち
～多職種でつなぐ認知症ケア～

基調講演：慈圭病院 副院長 石津秀樹氏

実践発表：医療、介護等の専門職から

ケアネットせとうちでは、地域包括ケア推進全体研修会を開催します。

基調講演は、慈圭病院 副院長 石津秀樹氏より認知症における本人の意思決定支援についてお話しいただきます。実践発表では病院、介護支援専門員、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、地域包括支援センターの取り組みについて報告します。

地域の多職種でつなぐ認知症ケアについて理解を深め、共に考えてみませんか。



<ケアネットせとうち事務局>

瀬戸内市保健福祉部 トータルサポートセンター(瀬戸内市立瀬戸内市民病院内)

〒701-4246 岡山県瀬戸内市邑久町山田庄 845-1

電話：0869-22-3800

FAX：0869-22-3801